

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

いよいよ新年度が始まりました。

毎年この時期になると、いかにも新社会人っぽい若者が、街中に溢れています。

おろしたてのスーツ、キチンと結んだネクタイ、汚れのない新品の革靴。

ちょっと緊張した空気感と、それ以上に強く放たれる、希望に満ち溢れたオーラ。

まあ実際、社会人になってしばらくすると、その瞳は間違いなく曇ると思いますが。

自分が前いた会社を思い出すと、曇らなかった人は、一度も見た経験がありません。

これって、投稿にも言えませんか？

小説投稿を始めた頃って、どの投稿者さんも希望いっぱい、キラキラした気分だったと思うんですよ。

小説を書くのって楽しいな！

俺この作品で受賞するだろうな！

作家になったらどんな活動しようかな！

でも実際に待ち受けていた物は、困難、挫折、失望、無力感、あきらめ、果てしない絶望……等々じゃないですか。

いや、自分だけじゃなくて、投稿者さんは普通そうっしょ？

もし一度も絶望してなかったら、逆にその人は、モグリだと思うんですが（汗）

でもそんな現実を知った上で、自分なりに消化して、続けることを選択している。

それが投稿者っていう存在だし、だからこそ一人一人に、深いドラマがあると思います。

自分はそう思っているんで、他の人の投稿話を聞くのは大好きだし、自分自身も引き続き情報発信を続けて、投稿の世界を盛り上げていけたらな……と思います！

すでに書いた通り3月が終わりましたが、先月は少年向け、少女向け、一般向け等々、色々な新人賞の締切りがありました。

3月投稿組の方は、お疲れ様でした！

自分は今年は不参加でしたが、発表はチェックして、結果を追いかける予定です。

それから、4月締切りの賞も多数あります。

4月投稿組の方は引き続き、追い込みを頑張りましょう！

さてさて。

今月はやや遅れましたが、少し余裕ができたので、papier版を更新しました。

【らくだ図書館（39）】

<http://p.booklog.jp/book/97076>

たまにこのブログを隅々まで、ものすごく閲覧してくださる方がいるのですが、papier版だと1か月分の記事が1画面で読めるので、よろしければご利用ください。

いえ、細かく閲覧してもらえるのは、すごく嬉しいんですけどね。

たまにそういう方がいるので、厳しい意見が届いても、どうにか続けられています。

それから自分の近況ですが、今必死に取り組んでいる原稿は、締切りに間に合う目途が立ちました。

2作は日程的に無理だったので1作ですが、まあ1作仕上げるのも厳しい状況だったので、これでも健闘した方なんじゃないかなーと。（自分に甘い）

とにかく、参戦することはとりあえず確定したので、投函が完了したらここに書こうと思います！

## 桜ノ宮公園 - 2015.04.03 Fri

---

春の陽気に誘われて、お花見へ行きました。

ちょっと遅いかと心配したのですが、まさしく今が満開で見頃だったので、写真をアップしようと思います。

行ったのはコチラ、……桜ノ宮公園！



桜ノ宮公園は、ズバリその名の通り、桜の名所です。

高校が環状線の沿線だったこともあり、毎年春になると電車からは見ていたのですが、ちゃんと花見に行くのは今回が初めて。

それではさっそく、行ってみましょう。



ご覧ください！

ちょっと写真が小さいですが、数えきれないほどの桜です！

数百本（数千本？）の桜が、川の兩岸を彩る様子は、まさに圧巻の一言です。



こちらは反対側の様子で、OAPビルが見えています。  
空も気持ちいいほど晴れていて、まさにお花見びよりですね。

気温はかなり暑かったですが、川沿いを歩いていると、少し涼しく感じられます。



並木道はこんな雰囲気。  
まさに桜のアーチと表現してもいいでしょう。

人出はそこそこ多かったです、押し合うほどではなく、とても快適に散歩できました。



上を見上げると、こんな風景が。  
まさしく十分咲き、満開中の満開です。

一方前へ目を向けると、いきなり砂浜を発見！



さすがに泳ぐためのビーチではないと思いますが、ボートやカヌーの練習をする人々が多数いました。

しかしそれにしても、桜ノ宮に砂浜があったなんて、地味に衝撃的です。



屋台もたくさん出ていました。

桜があまりにも多く咲きすぎて、屋台の屋根が、埋もれる感じになってますね。  
ぜいたくな光景です（笑）



グルッと歩いて天満橋に到着。  
この碑も屋台と同じく、桜に埋もれています。

最後にもう一度、川沿いの写真を。



この後、お昼ご飯を食べていたら、少し曇ってきてしまいました。

ちなみに、今日の計画は二本立てです。  
次に向かうのは大阪城で、こちらも花見の名所です。



というわけで。

次回は大阪城の花見の様子をアップします！

<次回へ続く>

お花見の記事の続きです。

桜ノ宮公園をあとにして、大阪城へやって来ました。

大阪城は桜はもちろん、梅林や桃園などもあり、花見を存分に楽しめます。



天守閣へ向かう途中、後ろを振り返った様子。

朝は気持ちいい青空だったのに、曇ってしまったのが残念です。

ちなみに桜の状況は、桜ノ宮公園と同じく、まさに今が満開でした！



桜の奥にチラリと天守閣が見えています。

せっくなので入場しようと思ったんですが、チケット売場にあり得ない長蛇の列ができていたので、天守閣へ入場するのは断念することに。

ちょっと残念でしたが、すぐ近くですし、また来ようと思います。



とりあえず下から撮った写真だけ……。

さて。

天守閣をあとにして、次は梅林へ向かいます。

もう遅いだろうと思いましたが、行ってみたらまさに見頃です！



紅色、白色、ピンク色。

美しいと同時に、これだけ咲いていると、迫力を感じます。

実はかなり歩き疲れていますが、わざわざ来た甲斐がありました。



同じ一本の木に、赤と白が混在！？

プレートの説明を読んだら、「源平しだれ」という種類だそうです。  
こんなに明確に色が違うなんて、不思議だけど面白いですね。



同じ一つの花弁の中にも、紅と白が混在しています。

一方下の花は、その名も「菊桃」。  
普通の花弁は円形に近いですが、この種類は、菊のように長細く特徴的です。



え、ちょっと待って？  
ここに咲いてる花って、ひょっとして桃なのっ？

不審に思って出てみると、確かに、「桃園」という石碑を発見！



梅林だと思って感動したのに、実は桃園だったというオチ。

いや、いいんだ！

キレイな花を見て感動したのは間違いない！



最後にオマケ、飛行機の写真。

上空は飛行機の航路なので、伊丹に着陸する航空機が、バンバンと飛んできます。

今はちょうど着陸用の車輪を出す瞬間でした。

大阪市東部から伊丹空港って、電車で移動すると遠く感じますが、こんな場所でもう着陸態勢に入るんですね。



以上、お花見の様子でした！

パワーもしっかり充電できたことですし、いよいよ最後の一週間、作業中の原稿を頑張ろうと思います。

こんばんは、らくだです。

特に宣伝というわけではないですが、自分が気になっている商品の紹介を。

来週4月15日(水)に、ClariSのベストアルバム、『～SINGLE BEST 1st～』が発売される予定です。

【リスアニ特設サイト】

<http://www.lisani.jp/claris-best1st/>

ClariSといえば、『俺妹』や『まどマギ』の主題歌などで、アニメファンの皆様にはすでにお馴染みかと思えます。

しかし、『コネクト』の曲レビューを見て驚いたんですが。

作詞家さんがこの曲を制作した段階では、『まどマギ』の脚本を未読の状態だったとか。

これ、ビックリじゃないですか？

名曲『コネクト』といえば、まどか視点の明るい歌詞だと思わせておいて、実はほむらが辿ってきた運命を表す歌詞だったという、『まどマギ』最大のミスリードを含んだ主題歌なのに、それがまさか偶然……！？

そうになると、逆に歌詞の内容が脚本に影響を与えたのかなーとか、曲がりなりにも小説家を目指す人間としては、色々と創作経緯の憶測が膨らんでしまうところです。

シングルの発売からは相当経ってますが、そういう背景を知った上で改めて曲を聴くと、また新しい楽しみ方ができますよね。

全曲レビューについては、発売日まで順にアップされるようなので、他の曲の創作秘話も楽しみに待ちたいです。

締切り直前になって慌てないように、必要な道具類をあらかじめ準備しておくことは、優秀な投稿者として欠かせません。

レターパックはもちろんのことながら、コピー用紙、インクやトナー、ダブルクリップ、穴あけパンチなど、投稿には様々な道具が必要になります。

その一環として、綴りヒモを準備しようと思ったら、見つからない！

しかし、おかしいです。

購入した記憶自体は、確かにあるのです。

まだ締切りまでは数日あるし、買い直したら済む話なんですが、あるべき物が見つからないのは気持ち悪い……。

というわけで、部屋中ひっくり返して探したら、いったい何をどう間違ったのか、ソーイングセットの中に入っていました（汗）

いや……。

確かにヒモの一種だから、針や糸と一緒にあっても、見た目は違和感ないけどさ……。

まあ実際は、自分自身で寝ぼけて入れたんでしょうけど、使用用途を考えるとミスマッチ感が半端ないと思いました。

それにしても、残された綴りヒモは、あと2本だけ。

買う時は「こんな大量に必要ないし1本だけ売ってくれ」と思ったのに、それをもう使い切ってしまうんだと思うと、小説投稿という行為の無常を感じずにはられません。

とりあえず、あと2本では決着がつきそうもないので、近いうちにもう1パック購入することになりそうです。

グランフロントの紀伊國屋に行ったら、海外小説の棚にダン・ブラウンの直筆サイン色紙が貼ってあって、テンションが上がった常木らくだです。

ダン・ブラウンといえば、『ダ・ヴィンチ・コード』や、『天使と悪魔』の作者です。自分をもっとも尊敬する作家さんの一人です。

それで、ですね。

勝手に写真を撮っていかわからなかったのが、結局は撮らなかったんですが、サインに「4 6 4 9」って書いてあったんですよ。

今どき4 6 4 9……？

センス古すぎなんじゃ……？

と思ったんですが、いや、ちょっと待って。

「4 6 4 9」と書いて「ヨロシク」と読むのは、日本ではいわば常識だけど、ダン・ブラウンはアメリカ人だったはず。

つまり、その数字が日本語で「ヨロシク」だという事実を、作者は知識として知っていたわけであって、さすが世界中の記号を研究しているだけあるなあ……と。

というわけで、本屋の片隅で足を止めて、一人で感動しちゃいました。

ちなみに『天使と悪魔』は、自分がこれまでに読んだすべての小説の中で、一番面白いと思った作品です。

『ダ・ヴィンチ・コード』は紹介するまでもないヒット作ですが、自分は『天使と悪魔』の方が面白いと思うので、もし未読の方がいらっしゃれば是非とも読んでみてください。

ワードユーザーの皆様にとっては、すでに当然なのかもしれませんが、コメント機能って便利ですね。

自分もワードで書いてるんですが、今さら知って激しく感動したので、ちょっとだけ紹介してみます。

手順はなんと、こ・れ・だ・け！

- ・ 該当の文字列を右クリック
- ・ 「コメントの挿入」をクリック
- ・ 欄外にスペースが現れて、任意の文を入力できる

スクショをとって見ましたが、使用方法はこんな感じです。



該当箇所がハイライト表示されるので、どの部分にコメントしているのか、パッと見ただけで明確にわかります。

これ、非常に便利じゃないですか？

他の方の作品にコメントする時はもちろん、自分で執筆しながらメモを取る時も、すごく重宝できそうな機能です。

たとえば、

- ・ 説明を加えたい部分、説明を削りたい部分
- ・ いい表現が浮かばないから、後で熟考する予定の文章
- ・ 用法が合ってるかどうか曖昧だから、辞書で調べようと思っている単語

等々が発生したら、サクッとコメントを入力すれば、後でチェックできちゃうわけです。

自分はこのコメント機能を知らなかったもので、わざわざメモ帳を開いて「76枚目の29行目の真ん中、『逡巡』の用法を後でチェック」とか入力してたんですが、照合するだけでも手間なんですよ（汗）

しかしこれなら照合の手間もないし、印刷の際はコメントを非表示にすればいいので、作業効率が飛躍的に上がりそうです。

というわけで、実は常識(?)なのかもしれませんが、ワードの便利な使い方を紹介してみました。

こんばんは、らくだです。

先週末は汗ばむような気温だったのに、また真冬のように寒くなって、着る服装に困ってしまう最近です。

さてさて。

私事ですが今回は資格の話。

ファイナンシャルプランナーの学習の延長で、相続アドバイザーの試験を受けたのですが、このたび結果が届いて無事に合格しました！

しかもこの資格、何位で合格したか通知されるんですが、まったく予想もしないような高順位でした。

いや、自慢したっていいじゃない！

本命の小説投稿では、人に自慢できる経歴が、一つもないんだもの！

まあそんな感じで弾みもついたので、5月のFP試験に向けて、これから復習を頑張ろうと思います。

ちなみに相続アドバイザーは、創作クラスタさんには、個人的にすごくオススメ。

相続人、相続順位、法定相続分、遺言の種類と成立要件……等々を体系的に学べるので、特に殺人ミステリーなどを書く場合には、学んだ知識が大きなアドバンテージになると思います。

いくら資格を取りたくても、弁護士や税理士は、敷居が高すぎですもんね。

それに比べたら、気軽に挑戦できる資格なので、その辺もいいんじゃないかなと。

そういうわけで、資格学校の回し者ではありませんが、相続アドバイザーをオススメする記事でした。

締切り当日にポスト投函するのが不安なのでわざわざ窓口へ出しに行ったら、郵便局の係員に、「レターパックならポスト投函できますよ」と指摘されるまでが小説投稿です。

郵便局のスタッフよ、お前はわかっていない！

俺はその事実を知っているが、だがしかし、あえて窓口へ出向いたのだ！

という本音を返答できるわけもなく、「あ、そうなんですか〜？」と曖昧に微笑んで、電撃に作品を投稿しました。

え、今の前置き必要ない？

普通に「電撃に投稿しました」で充分？

いいじゃねーか！

締切りに間に合ったから、テンション上がってんだ！

というわけで、ブログが大幅に滞ったりしましたが、どうにか無事に投稿できましたので、更新頻度を元に戻したいと思います m(-\_-)m

それにしても、長く取り組んできた作品を仕上げた後は、開放感と同時に一種の喪失感も感じますよね。

一字一句暗記するくらい自分の文章を毎日読みまくって、「もう勘弁してくれ……」みたいな状態になっていたはずなのに、もう読まなくていいと思うと逆に寂しく感じるっていう。

自分は毎回そうですが、皆様はいかがでしょう？

まあとにかく、今はこの開放感&喪失感を味わって、パワーの充電がしっかり完了したら、また次なる作品に取り掛かりたいと思います！

今日は締切り翌日のせいか、コメントをくださる方がいつも以上に多く、一人でニヤリとしている常木ら  
くだす。

というわけで、コメントレスなどを。

いつも優しく励ましてくれて、皆様ありがとうございます。

\*\*\*\*\*

<一純様>

無事に投稿できたようで何よりです！

自分はただ日記を書いているだけなので、お礼を言われると照れくさいですが、少しでもお役に立てたなら嬉しいです。

こんな感じのゆるいブログですが、今後もよろしくお願いします m(-\_-)m

<ごんべ。様>

おつありですー！

自分も投函した後は抜け殻になります（苦笑）

話は違いますが来週は国別の開催が楽しみですね。

今度こそ四大陸&ワールドの巻き返しを期待したいです。

<いつもの方>

無事間に合ったようで何よりですが、郵便局でルビを書いて 10 分前に投函は、あまりにもギリギリすぎる！

もうちょっと余裕持とうぜ！

いや、当日投函の自分が言えることじゃないけどさ！

\*\*\*\*\*

あと、拍手をくださった方々も、ありがとうございました。

今後もひっそりと更新しますので、引き続き、皆様どうぞよろしく申し上げます。

今日は20度を超えるだって？

嘘をつくんじゃない、俺は騙されないぞ！

と天気予報に逆ギレを起こし、ダウンコートに毛糸の帽子で外出したら、尋常じゃなく暑かった件。

ま、4月の中旬ですもんね（汗）

今週は花冷えのような寒さでしたが、そろそろ暖かくなって欲しいです。

さてさて。

ようやく締切りが終わったので、今日は実家に帰ってきました。

そしたら偶然、東京に住んでいる兄も実家に帰ってきていて、「今期録画しているアニメ11本について」熱く語られ大困惑……。

で、話題を変えたくて「東京にはもう慣れた？」と聞いたら、今度は秋葉原の話が延々と始まるっていう……。

まあ、アレなんですよ。

兄も自分もオタクなんですが、兄は自分の趣味を積極的に語りたい「オープン・オタク」で、自分は逆に一人っきりでニヤニヤしたい「隠れオタク」なので、話が全然合わないわけです。

実際子供の頃は、好きな漫画の種類とか、見事に正反対だった気が。

でもそのおかげで、自分なら絶対手には取らないような作品を借りて読めたので、創作世界の見聞を広げるのには役立ったような気がします。

とにかくまあ、実家を出ると兄弟に会う機会も少ないですが、たまに会うのもいいもんだなあ……と思った一日でした。

こんばんは、らくだです。

鳥取砂丘へ行った知り合いから、ラクダのお土産を貰いました。  
ラクダのぬいぐるみ、つまようじ立て、写真付マグネットです。



鳥取砂丘にはラクダグッズを売っている、その名も「らくだや」という売店があるそうで、そこでゲットしたという話です。

探したらホームページがあったので、ひっそりとリンクを貼ってみます。

【らくだや】

<http://www.rakudaya.info/index.html>

自分もラクダを名乗る人間の義務(?)として、だいぶ前に鳥取砂丘に行った経験はあるのですが、その時はこの売店には立ち寄りませんでした。

くっ……!

時間がなかったとはいえ、ラクダの店を素通りするなんて、ラクダマニア失格……!

というわけで、機会があれば自分でも行きたいなあ、なんて画策中。

それにしても、こういう理由(理由というか貰える由来?)のあるプレゼントって、嬉しいですよ。

プレゼントは基本的に何を貰っても嬉しいものですが、趣味やペンネームに関係のある品物だと、自分の為に選んでもらった感じがして嬉しさ倍増です。

というわけで、ラクダグッズも順調に増えていることだし、是非ともこの筆名でデビューしたいなあ……と改めて感じました。

今回は Kindle の辞書機能について紹介してみます。

Kindle というのは Amazon が販売している電子書籍リーダーで、製品自体の具体的な感想は下の記事に書いた通りです。

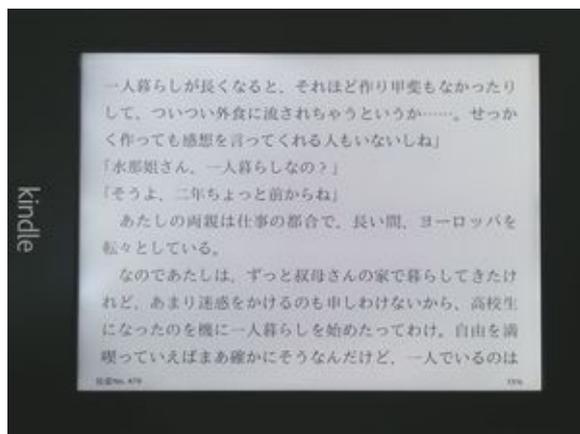
### Kindle を使った感想 (2013 年 5 月 2 日)

メインは電子書籍の DL ですが、テキストデータも流せるので、読み直し時に便利です。

それで、ですね。

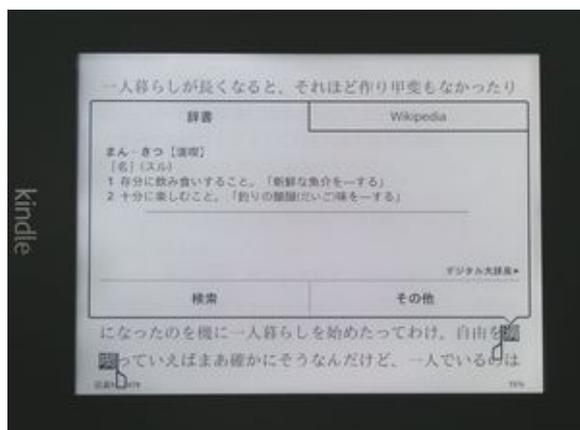
Kindle は辞書機能が無料で利用でき、これが文章チェック時に役立ちます。

例を挙げると、下の文章……。



ちょっと画像が小さいですが、クリックしていただくと、たぶん大きく表示されます。

たとえば自作の読み直しをしていて、「満喫」について調べたいと思った場合、クリックすれば辞書が表示されます。



まあ、それだけと言っちゃそれだけなんですけど、実際に使ってみるとこの機能が非常に便利なのです。

辞書を引くほどでもないけれど、「これって正確にはどういう意味？」、「この単語、誤変換してないかな？」等々、ちょっと気になる部分を調べたい時に、ワンタッチでそのまま確認できちゃいますからね。

というわけで、Amazon の回し者ではありませんが、Kindle をオススメする記事でした。

本日ニューオープンした、キットカットショコラトリー梅田へ行き、商品をゲットしました！



簡単に説明しておきますと、キットカットショコラトリーでは、スーパーで売っている商品とは違うハイグレードなキットカットが購入できます。

店舗は全国に現在6箇所ありますが、詳しくは公式サイトをご覧ください。

【キットカットショコラトリー】

<https://nestle.jp/brand/kit/chocolatory/>

以下、スペシャルシリーズの、個人的な感想を書いてみます。

\*\*\*\*\*

<バター味> AA

濃厚でありながら、しつこさは残らず、何枚も食べたくなる。このシリーズの本命。

<サクラグリーンティ味> A

桜餅のような風味が適度に主張し、口の中に上品な味わいが広がる。和菓子風。

<ストロベリーメープル味> B

やや酸味が勝っている印象なので、もう少し甘さが欲しいと感じた。

これはこれで悪くないが、通常のキットカットに対し、あと一歩差別化が欲しい。

<ヘーゼルナッツ味> ?

目の前（自分の前の人）で売り切れた！ トホホ……。

<梅味> A

ゲテモノかと疑いきや、チョコレートの甘さと梅の酸味が、絶妙にマッチしている。

チョコレートのアテに、ちびちびと梅酒を飲んでいる、そんな感覚が味わえる。

<抹茶&きなこ味> AA

きなこの主張が激しいので、好みは分かれるかも。きなこ好きな自分には大ヒット。

\*\*\*\*\*

あくまで個人的な感想ですので、実際に食べて違っていても、あしからずご了承くださいませ。

あまり気安く買える価格ではないですが（汗）、チョコレート大好き人間として、次は他のシリーズにも挑戦してみたいです！

どうもです、らくだです。

前に心理学の授業で聞いて、面白いと思った話があるので、今回はそれを紹介します。

手元に、ひらがなの五十音表があるとします。

その中で特定の一文字、たとえば「な」を印象付けたい時、どうすればいいか。

自分がパッと思い付いたのは、マルで囲む、矢印をつける、マーカーで塗る……等々、「な」を目立たせることでした。

しかし正解は見事に正反対で、相手に「な」を印象付ける最大の方法は、「な」だけ消すことだそうです。

そもそも人間には、欠けている物を求める性質があるそうで。

確かに五十音表で「な」だけ消えていたら、理由が気になって印象に残っちゃいます。

ここからは自分の意見ですが、これって、創作にも使えそうですね。

たとえば『シンデレラ』は、ヒロインの初期設定が不幸だからこそ、「幸せになって欲しいな」という期待値が生まれるわけで、それが実現するからこそカタルシスが得られます。

あれが最初から幸福なヒロインだったら、読者の期待値がないまま幸せになってしまうので、「美人で性格もいいとか非現実的だよね」、「魔法のおばあさん登場とか都合よすぎ」、「なんでいきなり王子様に求婚されるの?」と思われかねません。

まあつまり、最初から「幸せ」だったら、逆に「幸せ」を表現できないと思うんです。

最初は「幸せ」が欠けているからこそ、それを得た時、カタルシスがあるんじゃないかと。

以上長々と語りましたが、一番表現したい物をあえて「欠けさせる」のも、読者に期待値を持ってもらうという意味で、一つの有効な手法ではないかと考えた次第です。

締切り直前あまりにも時間がなくて、毎日インスタントカレーという生活を続けていたら、夏よりも5キロほど痩せました（実話）

減量したい皆さん！

ワナビダイエットは効果抜群です！

ただし長く続けると精神を病んでしまう可能性大！

あと、栄養（ビタミン？）不足が原因で、唇から出血が止まらなくなりました。

おまけに運動不足だから、食生活を元に戻すと、リバウンドで太るっていうね。

まあ「ワナビダイエット」は冗談にしても、心身に無理のかかる生活を長く続けると、健康を害するのは間違いない事実です。

現に作家の方って、悲しい話ですが、夭逝されるケースが多いですよ。

文豪と呼ばれるような人々はもちろん、現代の小説家さんや漫画家さんもです。

あれはやっぱり、文字通り作品に魂を込めて、命を削って書いているからこそ、そういう傾向があるのかなーと。

見方を変えれば、作家さんはそれだけ無理をして書いているわけで、この業界はつくづく恐ろしい世界だなあと感じます。

逆に言うと、それだけ大変な世界だからこそ、健康に対する意識は大切ですよね。

規則的な生活リズム、バランスの整った食事、適度に運動をする習慣、睡眠時間の十分な確保。

その瞬間は少し時間が削られても、長い目で見ればそれは健康を維持するために必要な時間だと思うので、心に留めておきたいです。

## スカイビルに行ってみた - 2015.04.18 Sat

---

こんばんは、らくだです。

スカイビルにのぼってみたので、今回はその様子を紹介します。

阿倍野に日本一高いハルカスが出来てしまった今、梅田スカイビルは限りなく中途半端ですが、展望台マニアとしてチェックはしておきたいところ。

まずは下からの写真ですが……。



一番上の円をご覧ください。

黒い棒のような形状の筒が、斜めに2本伸びていますね。

あれは実は、展望台へ向かうエスカレーター。

いつも下から見ていましたが、今回初めて、実際にのぼってみました。



実際に行くと、こういう感じ。

エレベーターは展望台へ直通しておらず、このサイバーな感じがするエスカレーターで、展望フロア&屋上へ向かっていきます。

テンションが上がりますね！



逆から撮った図。

エスカレーターの到着階が売店、その上が屋内展望台、そのまた上が屋上の展望台。

メインの展望台が屋外（屋上）というのは、数ある展望タワーや展望ビルの中で、スカイビルの珍しい部分でしょうか。



神戸側の景色は、遮る物が何もなく、開放感バツグン！

ぶっちゃけ自分、高い場所はものすごく苦手なのですが、写真の通り端まで行けないように柵があるので、高さの割には怖さを感じませんでした。



こちらは東側。

グランフロントの間にヨドバシ、阪急、HEPの観覧車が見えています。

南側には大阪城やハルカス、大正ドームなんかも見えました。

やはり屋外の展望台というのは、風が感じられて心地いいです。



こちらは一つ下の、屋内展望台です。

外観からは想像できないほど広く、土産物店やカフェなどがありました。

そして、展望台の一角には、なぜか唐突なお賽銭箱が。



恋愛成就って書いてあるけど何でも縁結びのスポットにすればいいと思ってるフシ正直あるよね？

いや！

由緒あるのかもしれないけど！



カフェでは、世界のビールフェスタ開催中でした。

この手の展望台にしては席も多く、くつろげそうな雰囲気でした。

そんなこんなの、梅田スカイビル。

173mという中途半端さではありますが、ハルカスは逆に「高すぎて地上の景色がよく見えない」と感じたので、これくらいの高度が展望台としては丁度いいのかもしれない。

そんなわけで、また機会があれば、夜景の時間にも行ってみたいと思います。

こんばんは、らくだです。

寒さはだいぶ和らいだものの、急に雨が降ったり天気がやけに不安定で、服装に困ってしまう最近です。

さてさて。

話題にするのが遅れましたが、オーバーラップ（2月締切り分）の1次発表がありましたので、リンクをペタリしておきます。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/2014/>

応募総数 333 作品

1次通過 47 作品

通過率 約 14 %

通過された皆様はおめでとうございます！

自分は今回は送りませんでした。オバラブさんの発表は4期分の結果が一覧できるので、リストを見るのも面白いですよね。

特に毎回送って必ず通過している人とか、一体どんな勢いで書いているのか、想像するだけで恐ろしい気分です（汗）

「毎回投稿する」ならまだ出来なくもないですが、「毎回通過する」っていうのは、誰でも出来ることじゃないですもんね。

締切りから開放されて最近だらけ気味ですが、作品を生み出し続ける勢いは、自分も見習わなければ……と思いました。

こんばんは、らくだです。

前回の記事に引き続き、もう一つ発表の話題を。  
富士見ファンタジア大賞の、1次結果が発表されました。

【発表ページ】

[http://fantasiataisho.com/contest/28th\\_second.php](http://fantasiataisho.com/contest/28th_second.php)

通過された皆様はおめでとうございます！  
応募総数がわからなかったのですが、1次通過作品は92本ということです。

しかし、それにしても。  
ファンタジアは今回で29回で、今あるラノベの賞の中で、一番歴史が古いんですよね。

すでにご存知の方も多いと思いますが、先日発表された「KADOKAWA」の組織再編によって、系列の各ブランドは今後どうなるか予想できない状況です。

レーベルの存続はもちろん、投稿者として気になるのは、やはり新人賞に関する情報。

すでにどの賞も次回の要項が出ていますし、即廃止は恐らくないと思いますが、将来的にはどうなるかわからないわけで。

今までの新人賞は残るのか？  
それとも統合されて新しい賞ができるのか？

等々、気になる部分は多いですが、自分にできるのは動向を見守ることだけ。

というわけで、今後どうなるのか予想できませんが、これを機に業界全体がさらに活性化して、投稿界が盛り上がっていけばいいなーと思います。

そういや思い出したんですが、先日実家に帰ったら近所にセブンイレブンができていて、一人で地味に驚愕しました。

なんでや！

なんでワシが引越した後、いきなり便利になるんや！

ちなみに今まで、実家に一番近いコンビニは、徒歩 20 分のローソンでした。20 分ならまだいいんですが、往復すると 40 分なので、かなり気合いが必要です。

でもそういう生活に慣れちゃうと、40 分歩くのも、意外と悪くないなと感じます。

田に水が張ってあると「そろそろ田植えか」とか、稲穂が実っていると「そろそろ収穫かな」とか、徒歩ならではのゆっくりした視線で、季節の移ろいを感じ取ることができました。

近所にセブンイレブンができた今は、40 分間も歩く必要はなくなりましたが、あの時間が無駄だったとは思いません。

要はその瞬間に「何を感じ取ったか」ですよね。

近所にコンビニができて、節約した 40 分を浪費したら、その方が勿体ないですし。

ちょっと主張が強引かもしれませんが、これって投稿にも言えないでしょうか。

また落選した、回り道ばかり、要領が悪すぎる、こんなの時間の無駄だ、いくら続けても先が見えない……。

でもそういう人って、ゴールへ直行した人は見なかった景色を、すごくたくさん見ていると思うんですよ。

結局のところ大切なのは、無駄だと思える時間から、自分が何を感じ取るのか。

何も感じなければそれは本当に「ただの無駄」ですし、逆に成長の糧にできたら、使った時間に意味を持たせることができますと思います。

新入社員歓迎会に参加したけれど友達が一人もできず、仕方ないからバイキング料理をひたすら食べ続け、翌日お腹を壊すまでがぼっちの新入社員です！

以上はほんの一例ですが、自分は知らない人と話すのが、致命的なほど苦手です。知らない人が大勢いる、立食パーティー形式の飲み会など、もはや単なる拷問です。

ただ自分は「会話」が苦手なのであって、一人で何かについて「語り」続けろと言われてたら、それは意外と苦痛ではありません。

その傾向はネットでも同様で、一人で語り続ける形式のブログはできるのに、会話が主体のツイッターでは途端に無口になるという……。

それでまあ、思ったんですよ。

小説は他人の合いの手が入るわけではなく、最初から最後まで一人で完結させなきゃいけないから、どちらかという「語り」の能力が必要なのかなーと。

ただ、現実と小説で大きく違う点は、相手の顔が一切見えないという部分。

例えば自分は販売の仕事をしていたんですが、相手がこちらの説明に興味を持っていなかったら、それは態度や顔色ですぐにわかりました。

でも小説だと、相手がどんな反応をしているかわからないから、仮に退屈させていても方向転換ができないんですよ。

逆に言うと、相手の顔がまったく見えないからこそ、「読者はこの作品を楽しめているだろうか」という、相手の気持ちを推察する能力が必要だと思うわけです。

要は自分の世界を伝える「語り」の能力と、相手の心情を推しはかる「会話」の能力と、執筆にはどちらも必要だと思うので、苦手意識を持たずどちらも磨いていきたいです。

どうもです、らくだです。

今回は近況に関するひとりごとです。

締切りが終わって、資格の勉強も一段落したので、余裕ができました。

そんなわけで積ん読を消化したり、ゲームをしたり、インプットに時間を使う最近です。

ただ、あまりにもインプットに時間を割いていると、罪悪感にも似た「もったいない感」を感じずにはいられません。

これっていわば、貧乏性ですかね？

もしくは、締切りのプレッシャーが大きすぎて、いまだにそれを引きずっているのか。

例えばゲームが終わったら、楽しさや充実感ではなく、「あー、今の時間に原稿やってれば、間違いなく〇枚は進んだはずなのに……」という、後悔に近い感情が猛烈に押し寄せてくるっていう。

かといって執筆に向かおうとしても、まずは選考中の作品の結果がわからないと、次に書く作品の方向性が定まらないので、宙ぶらりんみたいな心境になっている状況です。

本当は締切り目前ではない時期って、普段あまり書かないジャンルに挑戦できる、絶好のチャンスなんですけどね。

締切りまで残り時間が限られていると、ある程度完成の目途が立つものしか書けませんが、時間に余裕があれば失敗しても没にすることができますし。

ただやっぱり、締切りがあまりにも遠いと、意欲が上がってこないです（ダメ人間）

というわけで、今回は特に主張も結論もない記事ですが、そろそろ締切りから2週間が過ぎるので、早く次の目標を見つけたいなあ……と思います。

締切りからまだ2週間ちょいなんですけど、電撃の1次発表が、早くも待ち遠しくて仕方ない最近です。

自分自身の結果もさることながら、通過リストに知っている作品名があると、テンションが上がりますよね。

というわけで。

いきなり思いついた企画ですが、皆様の作品を読んで、感想を書かせていただきます。

役に立つような助言はできませんが、「常木に原稿を読ませてやるか！」という方は、お気軽にご連絡くださいませ。

【条件】

- ・ 今回の電撃に実際に投稿された作品
- ・ 短編・長編どちらも可
- ・ お一人様3作品まで
- ・ 返信時期はGW後（5月中旬）の予定です
- ・ 選り好みして申しわけないですが、当方グロとホラーには耐性がありませんので、それ以外のジャンルでお願いします

ご希望の方がいらっしゃいましたら、

【作品タイトル】

【原稿枚数】

【本文の文字数】

【投稿に使用されたペンネーム】

をメールにお書き添えの上、rakuda\_tsuneki ☆ zenno.jp（送信時は、☆を@に！）へ、電撃体裁（42字×34行）のWordかPDFをお送りください。

お待ちしております！

こんばんは、らくだです。

エリクションノベル（なろうコン）の、2次結果が発表されました。

いつものようにリンクを貼っておきますが、通過者の皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://www.wtrpg9.com/novel/info/077.html>

応募総数 6284 作品

2次通過 50 作品

通過率 約 0.8 %

上記ページに総評が載っていますが、それがとても興味深い内容なので、是非チェックしてみてください。

特に、評価の重要なポイントとして、「更新頻度」が挙げられているんですよ。

そうか、そうか！

更新頻度が高いほど有利なら、『らくだ図書館』が、受賞する可能性は大きいな！

(自分は応募してないし、そもそも小説じゃない)

それはまあ冗談として、「選者は何を重視しているか」や、「競争で選ばれるポイント」が、かなり詳しく丁寧に書いてあるので、チェックして損はないと思います。

上にも挙げた「更新頻度」は、ある意味ネット小説独特の要素ですが、それ以外は公募にも当てはまりそうですからね。

ちなみに次の発表は5月17日（日）で、公開収録の生放送らしいので、自分も視聴してみようかなあ……と思います。

こんばんは、らくだです。

今回の話題はデータの消去についてです。

自分は作品を書き終わって投稿した後、詳しい情報をエクセルにまとめて、創作ファイルの中に保存しています。

詳しい情報というのは、キャラクター設定だったり、細かい枚数の割振りだったり、本文に書き切れなかったネタだったり、その作品に関するありとあらゆる情報です。

つまりは、プロットに該当するようなデータですね。

自分はノープロット派ですが、作品を把握するために、後から表を作るわけです。

で、過去に書いた作品を改稿するにあたって、そのエクセルが役に立つと思って探したら、何故かその作品のエクセルデータが存在しない！

ああ、そうだ……。

落選したショックが大きくて、そのデータ消去したんだ……。

というわけで、元原稿を見て必死に再構築したんですが、その作業をするだけで結構な手間でした（汗）

落選（特に1次）した直後って、ショックで自暴自棄になってしまって、「こんなの書いたなんて恥だ！もう消し去ってやるぞー！」と思いませんか？（自分だけ？）

しかしそう思ったとしても、時間をかけて作成した作品のデータは、ちゃんと残しておくべきだなあ……と痛感しました。

特に文章のデータなんて、残しておいても、数キロバイトですもんね。

後々何が役に立つかわからないし、今後は気を付けようと思いました。

郵便局の窓口で「レターパックソフトお願いします」と口走ってしまい、係員のお姉さんに、「レターパックライトですね？」と訂正された経験がある常木らくだです。

そうだ、ライトだ……。

軽めの単語だと覚えていたので、ソフトだと勘違いしちゃったよ……。

さてさて。

その前置きとはまったく関係ないですが、「皆様の投稿作品を読んで感想を書きます」企画に、続々と原稿をお寄せいただいております！

すでに参加してくださった方には、GW明けにまとめてメールを差し上げますので、もう少々お待ちくださいませ。

ちなみにまだ少し余裕がありますので、4月いっぱい募集を続けようと思います。

送ろうか迷われている方は、このドサクサに乗じて(?)、参加してはいかがでしょうか。

条件が細かい方が参加しやすいと思って色々書きましたが、そんなに堅苦しいものではありませんのでお気軽にどうぞ。

それにしても、届いた順番に読み進めていますが、他の投稿者さんの作品を読むという経験は、自分にとってすごく勉強になるなぁーと改めて痛感しています。

一人でどん詰まりの時に、他の方の感性に触れると、刺激を受けますからね。

投稿者さんと話しても刺激は受けますが、作品だと感性が直に伝わってくるので、モチベーションにいい影響が出ています。

というわけで、ひっそりと追加募集を募ってみる記事でした。

ご興味を持たれた方は、4月24日の記事にて、詳細をご確認ください。

Word 文書ってコメントを入れられるんだ！

この機能を使ったら感想を書く時に便利だね！

という記事を少し前に書きましたが、PDF にも同様の「注釈」機能があると気が付いて、さっそく張り切って使ってみました。

まずはテストという意味で、自分の作品で試してみます。

紙原稿の書き込みを確認しつつ、自分のコメントを、PDF の注釈に入力していきます。

で、一通り作業が終わったけれど、どういうわけか保存できない！

なんで？

PDF の保存に失敗した経験なんて一度もないよ？

というわけで、慌ててグーグル先生にお尋ねしたところ、基本的に自分が使っている無償の Adobe Reader では注釈の保存ができないらしいと判明。

まあ残念だけど、無償だから仕方ないか……。

しかしそれなら、どうして入力是可以るんだろう……。

やけに中途半端な注釈機能だと思いますが、ちょっと書いた段階で保存を試していれば、すぐにダメだと気付けたのになぁ……と反省しました。

まあ、紙原稿がある自分の作品だから、消えても被害はないですけどね。

もし仮に人様の原稿だったら、せっかく入力した感想が、消えてしまうところでした。

とにかくそんなわけで、コメントを書くにしても色々な方法があるので、自分にぴったりのやり方を見つけるのも、小説投稿の作業効率を高めるために重要だと思います。

今回の挑戦は失敗でしたが、他にも何かあれば、積極的に試してみたいです。

こんばんは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

昨シーズン（14-15）が終わったばかりですが、新シーズン（15-16）の強化選手の情報が、早くもスケート連盟のサイトにアップされました。

[コチラです \(PDF\)](#)

男子女子ともに、特別強化選手は昨シーズン結果を出した選手ばかりで、納得の面々です。

あまり外野が口を出す話でもないですが、NHK杯でも四大陸でもいい演技をした村上大介選手が特別強化に戻ってきたのは、見る側のファンとして嬉しいところです。

あとはジュニア・ファイナルで銀メダルだった山本草太選手が入りましたね！

ちょっと寂しいかなと思うのは、毎年グランプリシリーズに出ていた今井遥選手が、強化Bになっている点でしょうか。

美しさと迫力を兼ね備えたループはもちろん、2A + 3T もセカンドが非常に高く伸びがあり、いつも思わず見惚れてしまうのですが……。

彼女の華やかな演技をまたテレビで見たいですし、今後出場する大会で、質の高い本来の実力を出し切って欲しいです。

というわけで。

試合的にはシーズン・オフですが、逆にこれから、アイスショーの季節が始まります。

新しいプログラムも徐々に明らかになっていきますし、この時期ならではの楽しみもあるので、今後も旬な情報を追いかけていきたいと思います！

ついにGW前半に突入しましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

自分は近場の外出ということで、昨日4月29日は、万博公園にある銭湯へ行きました。

その名も「おゆば」。

北摂では有名なのですが、やや不便な立地のせいか、穴場的なスポットです。



こちらは玄関の様子ですが、中はどんな感じかと言うと、いわゆるスーパー銭湯です。

通常のお風呂はもちろんのこと、足湯、炭酸風呂、露天風呂、ジェットバス、赤外線サウナ……等々、趣向を凝らしたお風呂体験が楽しめます。

しかも特筆すべきなのは、万博の「おゆば」は、温泉であるという部分。

それにも関わらず、スーパー銭湯の価格で入れるのだから、お得だと思います。

ちなみに行く前に、グーグルのストリートビューで周辺の様子を確認したところ、衝撃の事実が発生。

写真で風景を確認できるのは、せいぜい建物の玄関までと思っていたのに、風呂場まで侵入できてしまったのです（汗）



待て！

これはストリートじゃないだろ！

ですが使い方によっては、正直すごく便利ですね。

商業利用はさすがにアウトだと思いますが、個人的に外出先の様子を確認したり、それこそ執筆の参考にするなんてことも……。

とにかく広い風呂に浸かって、リフレッシュができました。

ゴールデンウィーク後半（本番！）も、近場に外出したいと思っています。